

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅳ		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	木曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉社会福祉学や心理学の基盤であるコミュニケーションの基本に基づき、立場に応じた対人スキルの学習を通して、個人と社会とのかかわりや社会の一員としてのあり方・役割について考えを深める。 〈概要〉社会的存在としての人を意識した、コミュニケーションスキルの講義と演習を行い、同時に福祉心理学基盤演習Ⅲで学んだ社会の一員としてのあり方・役割に基づき、自らのキャリアプランを視野に入れたキャリアイメージについて考察を促す。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)				
	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	講義内の課題やグループワークが多いため、積極的に授業へ参加すること。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	随時紹介する。				
外部教材	得意なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉学や心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、活用できる。			HSU(2)、WP(1)、(5)	
②	客観的に情報を整理し、説明することができる。			HSU(4)、(5)、WP(2)、(6)	
③	効果的なプレゼンテーションを行うことができる。			HSU(5)、WP(2)、(6)	
④	福祉や心理の学問が生かされる職業について理解し、自分の将来像を説明できる。			HSU(1)、(6)、WP(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：講義概要を理解する	講義	シラバス・配付資料を熟読し、出題された課題に取り組む。	2	
2	情報収集について学ぶ①	講義・演習	出題された課題に取り組み、復習をする。	4	
3	情報収集について学ぶ②	講義・演習	出題された課題に取り組み、復習をする。	4	
4	情報分析について学ぶ③	講義・演習	出題された課題に取り組み、復習をする。	4	
5	情報伝達について学ぶ④	講義・演習 グループワーク	出題された課題に取り組み、復習をする。	4	
6	情報伝達について学ぶ⑤	講義・演習 グループワーク	出題された課題に取り組み、復習をする。	4	
7	プレゼンテーション力を高める①	講義・演習	配付資料を熟読し、発表に向けた準備を行う。	2	
8	プレゼンテーション力を高める②	演習	発表の準備を行う。	4	
9	プレゼンテーション力を高める③	演習	発表の準備を行う。	4	
10	プレゼンテーション力を高める④	演習 プレゼンテーション	発表の準備を行う。 発表後は改善点をまとめる。	5	
11	プレゼンテーション力を高める⑤	演習 プレゼンテーション	発表の準備を行う。 発表後は改善点をまとめる。	5	
12	キャリアイメージをまとめる①	講義・演習	配付資料を熟読し、発表に向けた準備を行う。	5	
13	キャリアイメージをまとめる②	演習	発表の準備を行う。	5	
14	キャリアイメージについて発表を行う	演習 プレゼンテーション	発表の準備を行う。 発表後は改善点をまとめる。	4	
15	キャリアイメージについて発表を行う 後期のまとめと振り返りを行う	演習 プレゼンテーション	発表の準備を行う。 発表後は改善点をまとめる。	4	
試	評価のポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	20	30	0	50	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	4	5	0	5	14
	思考・推論・創造する力	0	4	5	0	5	14
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	4	5	0	10	19
	コミュニケーション力	0	0	5	0	10	15
	取組みの姿勢・意欲	0	4	0	0	10	14
	問題を発見・解決する力	0	4	5	0	5	14
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	第 12 回にレポートのテーマと要件を提示する。レポートの内容がテーマに沿っているか、所定の形式に従っているかを評価する。				講義後に Teams 等で講評する。
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表における（グループ及び個人）、発表の構成および話し方などのプレゼンテーション能力、質疑応答の対応を評価する。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	演習への取り組み（練習、グループ作業等）、授業中並びに授業後に提出された課題を総合的に判断する。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	宮澤 江梨子、宇賀 美奈子						
教員の実務経験							
実践的授業の内容	担当教員の専門性と経験を活かし、多角的な視点に基づいて授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。 						